

養子縁組とソーシャルワーク

2016.11.30 (水)
10:30～17:00

あすてっぷ神戸 2F セミナー室 1・2

神戸市男女共同参画センター

JR 神戸駅徒歩 7 分 高速神戸駅・地下鉄大倉山駅徒歩 3 分

神戸市中央区橋通 3 丁目 4-3 TEL078-361-6977

プログラム(予定) 10:00 受付

10:30 第1部 講演

「子どものための養子縁組とは？」

講師 林 浩康 氏 日本女子大学 人間社会学部教授

12:00～13:00 昼食休憩 会場で昼食をとっていただけます

13:00～13:40 質疑応答

13:50 第2部 「養子縁組とソーシャルワーク」

講師 米沢 普子^{ひろこ} 家庭養護促進協会 主任ケースワーカー

14:50 「養子として育った私が伝えたいこと」

成人養子から

15:30 …休憩…

15:45 意見交換

17:00 研修終了

18:00 交流会・(3500 円程度・当日会場でお支払い下さい)

19:30 終了

今年度の里親支援に関わるワーカーのための研修会は、「養子縁組とソーシャルワーク」をテーマに2部構成で開催します。

第1部は、厚労省科学研究の代表として養子縁組相談支援ガイドラインに資する提言、国内外の養子縁組制度の研究に携わってこられた林浩康先生を迎えて、ご講演をいただきます。

第2部は、当協会が長年、ケースワーカーとして養子縁組にとりくんできた米沢普子より養子縁組のソーシャルワークの実際についての話と、成人した養子からの話を聞きます。

子どもの福祉のための養子縁組をすすめるためにはどのような視点が必要か、ワーカーとしての支援の方法などを考える研修を企画しました。ぜひ、ご参加ください。

講師 林 浩康 氏

北海道大学大学院教育学専攻後期博士課程修了。博士(教育学)。養子と里親を考える会理事。社会保障審議会児童部会臨時委員。現在、日本女子大学人間社会学部社会福祉学科教授。

主な著書:『子ども虐待時代の新たな家族支援』明石書店、2008年。『子どもと福祉』福村出版、2009年。『児童養護施策の動向と自立支援・家族支援』中央法規出版、2004年。『社会的養護の現状と近未来』(編著者)明石書店、2007年など。

対象 : 里親支援機関職員 里親支援専門相談員、乳児院・児童養護施設等 福祉施設職員、児童相談所・児童家庭支援センター等 関係機関職員他

定員 : 90名(先着順)

資料代 : 1500円(当日会場でお支払い下さい)

※申込み〆切り 11月24日(木)

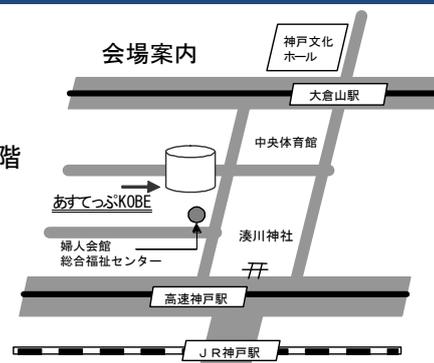
裏面申込み用紙にご記入いただき、お電話・ファックス・E-MAIL でお申込みください！
受講していただけない場合のみ、ご連絡をいたします。

主催 : 公益社団法人 家庭養護促進協会

〒650-0016 神戸市中央区橋通 3-4-1 神戸市総合福祉センター 2階

TEL 078-341-5046 FAX 078-341-1096

E-MAIL ainote@kjd.biglobe.ne.jp



JR 神戸駅より北へ徒歩 7 分

神戸高速鉄道高速神戸駅より北へ徒歩 3 分

神戸市営地下鉄大倉山駅より南へ徒歩 5 分

送信先： 家庭養護促進協会 神戸事務所 **FAX 専用 (078) 341-1096**

参加者氏名	ふりがな	所属と職種
連絡先 住所 〒		
TEL	FAX	
★18:00～の交流会に <input type="checkbox"/>出席 <input type="checkbox"/>欠席		
交流会のご案内 研修会場近隣の飲食店にて交流会を予定 ご参加は任意です。 時間:18:00～20:00(予定) 金額:3500 円程度 当日会場にてお支払ください。		
受講にあたって配慮が必要な方は、その配慮の内容を、可能な限り具体的にご記入ください。		

* 受講していただけない場合のみ、ご連絡をいたします。当日直接ご来場ください。

* 本研修の申込みについてお預かりした個人情報については、受講に必要な事務作業と資料作成、次回研修案内の目的にのみ使用します。

公益社団法人 家庭養護促進協会 <http://ainote.main.jp/wp/>

民間の里親開拓機関として 1961 年に設立。1962 年より神戸事務所では、神戸新聞の紙面「あなたの愛の手を」とラジオ関西の番組「里親探しの時間」で里親の必要な子どもを紹介し、その子どもの里親を求める「愛の手運動」を続け、1964 年からは大阪事務所で毎日新聞の協力を得て同じ「愛の手運動」を続けてきた。この愛の手運動を通じて迎えられた子どもたちは、2393 人になり、そのうち 74% の 1775 人が養子縁組を完了している。(2016 年 3 月末現在)。

里親を求める運動として、里親希望者への面接、養育希望者への研修、家庭調査、里親委託後の訪問、アフターケア。里親家庭への支援として、里親・養親からの相談援助、里親サロンの開設、真実告知や養子縁組等の研修、里親家庭対象のキャンプなどの事業を行っている。機関誌「育てる」、四季報「は一もにい」の発行、里親や養子に関する図書の出版、里親運動に関する講演会、里親による出前講座等の広報活動も展開している。